

育成会だより

平成29年度 第4号

【発行】

認定 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町7番9号

TEL: 0796-24-3660

FAX: 0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] <http://www.toyoteiku.com/>

編集 本部事務局 平成30年3月30日

本年度を振り返り、次年度にむけて

平成29年度も残すところあと僅かとなりました。平成25年度より取得を目指してまいりました認定NPO法人、足かけ5年を経て、平成29年12月18日付けにて兵庫県より認定を受けました。より一層重くなった責任と使命の重大さに身の引き締まる思いです。

この一年、活動としては、「但馬ブロック研修会」と「フェスタはばたけ」との併催という新たな試み、また学齢期保護者の方を対象に相談事業「いいね!」を開催するなど、少しずつではありますが、活動の輪を広げる確かな一歩を踏み出した年でもありました。

事業運営においては、生活介護事業「じゃんぷ」開設、グループホームOHANAに、但馬管内では初のサテライト型住居「あおぞら」開設と、事業の拡大充実にも努めてまいりました。しかし、グループホームは男性棟女性棟とも満床となり、日中活動も、新規利用者を迎え、ほぼ定員いっぱいの状況です。とはいえ需要は増す一方、お問い合わせのお電話が絶えることはありません。

皆様のニーズにお応えするために、さらなる活動の充実、新たな事業展開・事業の拡大を図らなければなりません。これまで、何の変化もない現状維持のままで過ぎた年はありませんでしたが、次年度もまた、新たな事業展開を計画・準備中です。この「育成会だより」が皆様のお手元に届く頃には、新事業の概要がある程度具体的なものとしてお目に触れていることと思います。今後ともより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

理事長 中井 佳与子

もちつき大会

3月10日、保護者会主催のもちつき大会が行われました。

総勢80名+当日参加のつくしの児童さんたちもいて、とてもにぎわっていました。

今年のおもちは、『きなこ・あんこ・だししょうゆ・クルミ』の4種類でした。

初登場のクルミもちはとても好評でした。もみじ家さんが作ってくださった、OHANA畑収穫の大根、白菜入りお野菜たっぷり豚汁とおにぎり、つきたておもちもたくさんあり、お腹がいっぱいになりました。

午後からは各班の出し物です。練習の成果を保護者の皆さんに見ていただきました。



すいーつ～手話歌～



庭の梅のつぼみが、日々に膨らみ、少しずつ、春が、近づいている気がします。

3月10日に行われた餅つき大会での出し物では、童謡の「ふるさと」を手話で披露致しました。みなさまに楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

そして、春になると、いよいよ移動販売が始まります。

メンバーさん達も、やる気満々です。

今後もすいーつをよろしくお願い致します。

<H>

ほっと ～節分まめまき～

2月2日（金）に、はばたけ LAULAU 2階多目的室で豆まき大会を行いました。

今回はミニストップ様の協力があり、ボランティアとしてスタッフの方2名に来ていただき、鬼の役をやって頂きました。

小袋に入った豆を皆力いっぱい投げていましたが、中には豆を投げることに夢中になってしまっている方もおられました(笑)。



豆まきが終わると、最後は鬼

たちとも仲直りして、皆で一緒に恵方巻きを食べました。

恵方巻の他デザートなどミニストップ様より頂きました。今年の恵方の方角は南南東でしたが、皆思い思いの方向を見ながら美味しく頂きました。

<U>

じゃんぷ ～もちつき大会人形劇～

春も近づき、暖かい日が多くなりました。先日開催された餅つき大会では、じゃんぷのメンバーさん達も餅つきを体験され、とても楽しく過ごされていました。また、餅つきの後に人形劇を発表させて頂き、緊張されながらもしっかり練習の成果を発揮され、発表後は皆さんとても良い表情をされていました。

4月で、じゃんぷも2年目を迎えます。

今後も引き続き、明るく楽しい居場所を目指していきたいと思います。

よろしくお願ひいたします。



<M>

つくし～障害児通所支援事業～



今年も、3月10日のもちつき大会に参加させていただきました。
手伝ってもらいながら重い杵を持ち、ぺったん、ぺったんとついたり、お餅にきな粉をまぶしたり・・・。

とってもいいにおいで「おもち、たべた～い」と言っている児童もいました。
すると、願いが届きお餅がやって来ました。みんな大喜び！！



はばたけ保護者会の皆様有難うございました。

1月からスタートした集団活動も約3ヶ月になり、流れも少しずつですが出来てきています。それぞれに、余暇活動として自分の楽しみやプラスになる時間を見つけられればと思っています。



30年度は、初めての野外活動を計画していき、つくしの思い出作りをしたいと思っています。

<N>

ヘルパーステーションはあと～グループホームにて～



グループホームで、ヘルパーの様子を報告します。

リビングで音あそびを楽しみ、自室にて音楽CDを聴きながらキーボードに触れてリラックスした様子で遊ばれています。また他の利用者さんの話し声やテレビの音に耳を傾けながら、室内でのお散歩。落ち着いた雰囲気でご過ごされています。

入浴については、一人一人の状態に応じた入浴方法やヘルパー一問で連携し、安全に入浴していただけるよう日々取り組んでいます。

お風呂の後は、みなさんお待ちかねの食事時間。「いただきます」の合図とともに口へと運ばれ黙々と食べられています。お一人では難しいところをお手伝いさせていただいています。

肉・魚・野菜・汁物等バランスよく作られたメニューに思わず笑顔に。そんな姿を目の当たりにすると、「がんばってよかったな」と束の間のひと時を味わうことができます。

笑顔は人と人を結ぶことができ、力を与えてくれます！今後もより一層頑張ります。

<A>

グループホーム OHANA ～短期入所～

「あの～障がいをもった子供が居るので、日帰り手術は無理ですか？」 突然の手術の宣告

（もし、何かあったとしても一カ月くらい先だろうと思っていました。えっ今週の金曜日、2泊?.....）

旦那の仕事上簡単に休みが取れないので普段は子供と二人暮らし。

電話で育成会の理事長に相談。

「金曜日に手術することになって、息子どうしたら」

学齢期の頃は、放課後等デイサービス、日中一時等を利用していましたが高等部卒業後、作業所の通所以外何も利用してませんでした。

何と次の日に息子と一緒に OHANA の見学、説明となりました。

いざ OHANA へ、息子「ホテル、きれい」（母談 すみません、家は...）

だけど母の横にベッタリの息子。ところが、職員さんの声かけでスーッと使用する部屋へ、いつの間にかのんびりムードになっていました。「大丈夫ですよ」OHANA の職員さんの心強い言葉。利用に向け、くせやこだわり、持ち込みのゲームや食器、作業所の送迎、昼食など話し合いました。

不安は拭えないなかとうとう、入院当日になり夕方いざ OHANA へ。

子離れ出来ていない離れがたい母に職員さんが「大丈夫ですよ、お母さんも無理しないで」夢みみたいな言葉をかけていただき病院に向かいました。

無事に土曜日に退院し、約束の時間より少し早く OHANA に着きましたが、母の心配をよそに部屋で約束の時間まで寛いでいました。

障がいをもった子供と親の切なる思いを我が事のように共感してくれる育成会の皆さんだからこそ親身になって敏速な対応していただけた。本当に深謝致します。今回も身内だけで乗り切る方法はないかとの考えが強かったと思います。ですが、身内だけでは出来なくなる時が必ずくると痛感しました。

一応、障がい福祉サービス受給者証で短期入所 10 日/月ありましたが、どこも契約まではしてこず家庭内で事なかれに過ごせればと親主体になっていたことに大反省です。

これからは、本人主体の計画が立てれるように育成会の皆さんご指導よろしくお願いします。

本当にありがとうございました。

<利用者保護者 T>

助成いただきました！

29年度、「神戸やまぶき財団」様より車両タント、あお1自火報設備、来年度工事予定のLAU改修工事の助成をいただきました。

「日本財団」様より車両セレナの助成をいただきました。

各事業より一層、充実した活動に役立てていきたいと思ひます。



編集後記

今年は、低温が続きとても寒い冬でした。ようやく気温も上がってきました。そろそろ桜の季節です。新年度にむけて新たな気持ちで頑張りたいと思ひます。

(N)